

会報

第37号

2012年2月発行

かいほう

The Friendship Force of Miyagi

発行者

会長 広瀬喜美子

〒980-0815
仙台市青葉区花壇
5-36-201
TEL:022-221-3904

ご挨拶

会長 広瀬喜美子

私が心ならずも会長をお引き受けして早や二年の月日が流れました。その間FF日本の石井様、郡山の佐々木様はじめ各クラブの方々、そして何より当クラブの役員各位と会員の皆様のご協力で何とか責任を果たす事が出来ました。本当にありがとうございました。

2011年は仙台も3.11と呼ばれる大災害に襲われました。私はその前は受け入れも派遣もEDにおまかせで助けていただきましたが、この災害直後から世界各地からお見舞いや安否確認、それに義援金の拝受等々対応に追われまし

また余村FFI理事が提案されたTシャツプログラムで各クラブよりの義援金を仙台市に当クラブを通じて贈呈したり、太田群馬での日本大会で”仙台の被害状況”をお話しすると云う貴重な体験も致しました。それにジョージブラウンFFI会長を仙台にお迎えしたのもいい思い出となりました。

2012年は5月にオーストラリアセントラルコーストからの受け入れとシアトル派遣、それに10月末から11月にかけて広島で開催される世界大会と、その後のホームステイなどが予定されています。皆様のご協力をお願い申し上げます。



ニューカレドニアを訪ねて 森房雅子



4月9日から20日までニューカレドニアのヌメアを訪ねました。3月11日の大震災のため、やむなく渡航出来ない方もあり西東京クラブのメンバーと8人でヌメアに向かいました。トントゥータ空港には昨年来仙されたメンバーの方々が蘭の花のレイを一人一人にかけ歓迎してくれました。コバルトブルーの空と海のダックアイランドではかわいい熱帯魚とたわむれ、ユニークな建物のカルチャーセンターでは原住民の時代から現代までの文化を知りました。

またフェアウェルパーティーではメンバーの手作りの色々な料理を堪能し食後はダンスパーティーを楽しみ、美しいヌメアと明るい人々に会い大震災の恐怖をしばらくの間忘れていました。



世界大会にでも出席しなければ会えない、FFI 会長が被災地を見たいと 12 月 20 日に仙台にいらした。21 日の被災地見学後、ホテルリッチフィールドで歓迎会が行われ、郡山クラブからも出席があり、愛知和男氏、石井嗣代氏来賓と共に楽しい一時を過ごした。ブラウン会長は、和食はおいしいと宮城名物”はらこ飯”まで、すっかりたいらげた。ティッシュ箱をからにする桜吹雪に歓声を上げ、鶴戸さんの日本舞踊手品に、来年の広島大会でもやってもらいたいと話していたようです。最後に全員で踊りながら会場一周して”Thanks a lot for your kindness” 来年必ず広島に来て下さいと、日本に来て起こった、ひどい鼻咳アレルギーをおさえながら、ホテルの部屋にお帰りになった。

第 24 回 F F 日本大会に参加して

松浦信子

1. 日程 2011 年 11 月 19 日 (土) ・ 20 日 (日)
2. 会場 群馬県太田市ホテル「ふせじま」
3. プログラム

19 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00 代表者会議

- 「広島」世界大会について
- 合同渡航時の問題点など

13 : 00 ~ 17 : 00 全体会議

- 代表者会議検討事項報告
- 東日本大震災見舞金への御礼と現状等

- a. 宮城クラブ 広瀬 喜美子
- b. 郡山クラブ 蓋 康

18 : 00 ~ 20 : 00 懇親パーティー

20 日 (日) オプショナル行事

- (A) 日光観光 華嚴の滝・陽明門・東照宮等
- (B) 太田。足利観光 大光院・足利学校等
- (C) 「わたらせ鉄道」星野富弘美術館等



4、特記

- 1) アトランタ本部 ジョージブ・ラウン会長来日、大会出席
○2012年「広島」世界大会について視察、打ち合わせ
○大会後、個人的に東日本大震災跡の見学
- 2) 大会会場隅でバザー（コサージュ、化せんたわし等販売）利益金3万円が宮城クラブと郡山クラブに贈られた。
- 3) 2012年「広島」世界大会には、日本のクラブからできるだけ沢山参加してほしいとの要請があった。詳細は後程。
- 4) 感想 ホテル「ふせじま」は東京から東武鉄道特急列車で1時間半という所でしたが、温泉で街は古い物を大切に保存し、落ち着いたよい街でした。カイロ派遣に同行した岐阜クラブの方、ニューカレドニアに同行した西東京クラブの方、マニラ世界大会で出逢った島田信子さんと久闊を叙した。

FFI会長ジョージ・ブラウン氏をご案内して

岩井絃子

11月21日（月）群馬太田市でのFF日本大会帰路、この度の東日本大震災を視察なさるべく、日本事務局の石井さんとFFI会長ジョージ・ブラウンさんを愛知、森房、岩井他2名計7名、多賀城市経由塩竈棧橋より小型観光ボートにて松島桂島浦戸にご案内した。

あれほど堅固な防波堤も、鬱蒼と茂っていた松の防潮林も、この度の津波では無残にも、私達人間の命を守りきれなかったのに、松島

の島群は身を呈して、かの津波の勢いを受け止めてくれたというその島々の間を、ギャーと騒いでは寄せ来る波しぶきを受けつつ、私自身初めての桂島浦戸に上陸した。早々に無残な岸壁、コンクリートの路面、生々しい被災建物、住まいが目に入ってくる。この小高い山を乗り越えてワアーと一気にこんなところまできたのさあーとお迎え下さった島の区長さんの説明を聞きました。



生徒のいない塩釜市立浦戸第二小学校は避難所生活対策本部となっていました。最後辛うじて生産施設として残った牡蠣剥き作業場にも案内され、作業風景を見せていただきました。良く来たね、ホレ新鮮な牡蠣を食べてみるかと明るく優しく語りかけて下さる島の方々。どこまでこんなに温かい人々なのかとホロッとさせられ、何とか一日も早い本当の立ち直りを願わずにはいられませんでした。松島では気分も新たに紅葉のスバラシイ円通寺さんを散策後、大観荘最上階からの松島大パノラマ風景を堪能しての爽やかな昼食セットを頂きました。

長い間、会計の仕事をして頂いておりました松沢さんから、この度、鈴木淳子さんと二人で会計をバトンタッチすることになりました。総会后、間もなく震災があり、引き継ぎもなかなかできない状態にありました。

そんな中、鈴木さんと、お互いに役割を分担していこうと話し合いました。というのも困ったことに、時間を置くと忘れてしまう特技の持ち主の二人だったのです。そこで役員会、行事などが終わった後、余り日にちを置かず、通帳、現金、書類の整理をすることにしました。(会員の方々の大切なお金をお預かりしているのです、責任重大ですから。)

そんな訳で何とか無事に会計の仕事をしていくことが出来ましたが、二人で協力してすることがとても良かったと思います。またこれから、会計を一人ずつ入れ替わり、交代をする事もいいことだと思います。最後に皆様のご協力をお願いして、次の方にバトンをお渡ししたいと思います。

《2011年 事業報告》

- ・2月17日 2011年度総会・新年会
リッチフィールド仙台
- ・3月1日 FF 創立記念日
- ・3月11日 東日本大震災発生
- ・4月9～18日ヌメア派遣
＜ニューカレドニア＞
- ・7月8日義援金百万円を仙台市に寄贈
全国からのTシャツプログラムによる
- ・7月28日 ビアパーティ 19名参加
まつぶちガーデンパレス
- ・9月 メルボルン受け入れ
原発事故を理由に中止
- ・10月 アジアパシフィックフェスティバル
イン・ランブーン＜タイ＞
4名出席予定が洪水により中止
- ・11月19日～20日 第23回日本大会
(主催：太田群馬クラブ) 3名出席
- ・11月21日～22日
ジョージブラウンFF I 会長来仙
被災地案内・歓迎会・忘年会

※北日本ブロック大会開催なし

※役員会定例会年6回 随時開催

※会報発行2回

《2012年 事業計画》

- ・2月16日 2012年度総会・新年会
リッチフィールド仙台
- ・3月1日 FF 創立記念日
- ・5月19～26日セントラルコースト受け入れ
＜オーストラリア＞
ED：五嶋、鈴木(淳)、高松、岩井
- ・7月下旬
シアトル タコマ派遣＜アメリカ＞
- ・10月30日～11月2日
2012年世界大会 広島＜日本＞
- ・11月3～7日 大会後ホームステイ予定
- ・12月 忘年会

※北日本ブロック会議 札幌予定

※役員会 年6回開催 会報発行

(編集後記)

2011年度は3.11の大災害により受け入れ、派遣とも大分変更があり、義援金などのお世話で会報を2度発行しました。来年度からは予算の関係もあり、1回に戻すことも考えています。皆様のご意見をお聞かせください。